

I 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I はじめに

当財団は、埼玉会館及び彩の国さいたま芸術劇場（以下、「芸術劇場」）の指定管理者として、令和7年度から5年間の指定を受け、質の高い舞台芸術作品を創造、発信するとともに、県民の文化芸術活動の支援に関する取組を実施している。

芸術文化は、一人ひとりが心豊かに生きる社会の構築に欠かすことのできないもので、特に演劇、舞踊、音楽等の舞台芸術は、多くの人々に精神的潤いのある上質な生活をもたらすだけでなく、芸術に関する学びや体験を通じて創造的な人材や、人間らしく生き、他者に共感し尊重する資質を育む機能を持っている。

当財団では、こうした観点から、多くの人々が幸せになる、幸せを感じられる埼玉県になることを目指して事業を進めている。

II 財団の組織運営理念

これからの時代にふさわしい芸術文化の姿を再構築し、それを実現できる財団へ進化するために、当財団では以下のとおりミッション等を定めている。これらの実現に向け、積極的に事業を展開している。

【ミッション】

「Art for Life - すべての人生に芸術を - 」

【ビジョン】

「アートでつなぐ - 人・地域・世界 - 」

- (1) 世界に通用する舞台芸術を創造・提供する
- (2) 県民に対し満足度の高い芸術文化活動の実践の場を提供する
- (3) 社会や地域の課題に対し芸術文化活動を通じてその解決に貢献する

III 令和7年度における財団の事業概要

令和7年度から開始した新たな中期経営計画及び令和7年度事業計画に基づき、舞台芸術作品や県民の文化活動の場の提供などの各種事業を展開し、当財団の役割である本県の芸術文化の振興を図った。

舞台芸術作品の提供においては、演劇、舞踊、音楽を中心に、彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd「マクベス」や、海外カンパニーの招聘を始めとした国内外で活躍するアーティストによる公演など、芸術性の高い舞台芸術作品を上演するとともに、若手アーティストを起用した公演を実施することで舞台芸術の次代を担う人材の育成を図った。

また、近藤良平芸術監督が掲げるテーマ「クロッシング」の下、異なるジャンル

を融合したジャンル・クロス作品の新作である「ほぐすとからむ」の上演や、多彩な文化の掘り起こしや地域活性化を目的とした「埼玉回遊」に取り組むとともに、地域住民に劇場の魅力を発信する芸術劇場オープン・シアター等を実施した。

さらに、令和6年度、近藤芸術監督が立ち上げたプロ・アマ、年齢、障害の有無等の垣根を超えて活動するシアターグループ「カンパニー・グランデ」は、スタジオワークの内容を発展させ、創作活動を活発化し、2月に本公演を実施した。

これら事業の実施に当たっては、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」等を踏まえ、社会課題の解決に貢献する芸術活動を推進するため、あらゆる人々がその特性に関わらず芸術文化を享受することができるよう鑑賞サポートの取組を実施した。

令和8年度に創立100周年を迎える埼玉会館では、プレイベントの開催によって、歴史的・建築的価値を発信し、気運を高めた。

県民の文化活動の場の提供においては、各施設等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるとともに、利用者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう、コスト面も考慮しながら計画的に修繕や点検を実施するなど、適切な管理運営を行った。

これまで培ってきた実績と経験を最大限に活用しながら幅広い事業を実施するとともに、経営の健全化及び経営基盤の強化に取り組むことで、県内における芸術文化の一層の振興と、真に豊かさやゆとりを実感できる県民生活の実現を図った。

1 事業の概要

(1) 舞台芸術作品の提供等に関する事業

事業数：52 事業

公演数：130 公演

入場者数：81,049 人 ※オンライン参加者含む。

ア 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展（8 事業 42 公演）

・国内外からの埼玉県文化芸術への評価を高めるため、芸術性の高い舞台芸術作品の上演や演奏会を実施した。一部の公演では、作品の理解を深めるためのワークショップや勉強会、ポスト・パフォーマンス・トークなどの関連企画を実施した。

・芸術劇場の看板事業の一つである「彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd」2 作目としてシリーズ芸術監督・吉田鋼太郎の演出により悲劇『マクベス』を上演した。本事業は観客からの期待が非常に高く、チケットは即完売となった。また、鑑賞サポートの充実も図り、字幕機、音声ガイドの貸出しに加え、リラックス・パフォーマンス公演を試験的に実施した。また、シェイクスピアの専門家による事前レクチャー、オープンスペースでのシェイクスピア作品のポスター展、プレコンサートを実施し、芸術劇場全体でシェイクスピアを入口とした芸術文化に触れる機会を創出した。

・国際的に注目を集めるピアニスト、ユリアンナ・アヴデーエワを迎えリサイタルを開催した。没後 50 年を迎える作曲家ショスタコーヴィチの大作ピアノ作品《24 の前奏曲とフーガ》全曲演奏は、日本では芸術劇場のみで披露されたことから、遠方からも聴衆が集まり、芸術劇場の認知度向上に寄与した。

・近藤芸術監督が芸術劇場の活動指針として掲げるジャンル・クロスの新作公演『ほぐすとからむ』を上演した。令和 4 年度の同シリーズ作品に続き、劇作家・松井周がオリジナル戯曲の書き下しを手掛け、近藤芸術監督が演出を務めた。ジャンルの融合による表現の豊かさを示すとともに、芸術劇場がさらに豊かな表現活動の場であることを示した。

・国内外で活躍し、着実に評価を高めている指揮者角田鋼亮と将来を嘱望される二十歳のヴァイオリニスト中野りなを迎え、日本を代表する NHK 交響樂團による演奏会を実施した。従来の愛好家の要望に応えるとともに、一度「N響」を聴いてみたい、あるいは高齢等の理由で遠方へ行くことが難しい県民に対して日本のトップ・オーケストラの演奏を身近で鑑賞できる機会を提供した。

・“タンツテアター”の手法で 20 世紀のダンス・演劇界に多大な影響を与えた世界的振付家ピナ・バウシュのカンパニー、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団が 8 年ぶりに来日した。ピナ最晩年の作品をオリジナルキャストを中心としたダンサーらが日本で初めて上演し、若い世代を含む幅広い層の観客が来場した。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
音楽 バッハ・コレギウム・ジャパン J.S. バッハ《マタイ受難曲》 【1事業1公演】	4月20日(日)	芸術劇場 音楽ホール	584
演劇 彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd Vol.2『マクベス』 【1事業21公演】	5月8日(木) ～25日(日)	芸術劇場 大ホール	15,569
音楽 ユリアンナ・アヴデーエワ ピア ノ・リサイタル 【1事業1公演】	6月14日(土)	芸術劇場 音楽ホール	580
舞踊 アクラム・カーン 『ジャングル・ブック』 【1事業3公演】	6月20日(金) ～22日(日)	芸術劇場 大ホール	1,561
演劇 ジャンル・クロスⅢ 『ほぐすとからむ』 【1事業10公演】	8月3日(日) ～8月11日(月・祝)	芸術劇場 小ホール	1,233
音楽 NHK交響楽団 角田鋼亮(指揮)・中野りな(ヴァイオリン) 【1事業1公演】	9月6日(土)	埼玉会館 大ホール	1,250
音楽 フィリップ・ジャルスキー(カウンターテナー) & ティボー・ガルシア(ギター) デュオ・リサイタル 【1事業1公演】	10月13日(月・祝)	芸術劇場 音楽ホール	470

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
舞踊 ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団『Sweet Mambo』 【1事業4公演】	11月27日(木) ～11月30日 (日)	芸術劇場 大ホール	2,797

イ 芸術実践・鑑賞層の拡大（40事業83公演）

- ・次代の舞台芸術を担う人材の育成を図るため、若手演奏家、落語家等を起用した公演を実施したほか、演出家、振付家等による創作や発表の場を提供した。また、大学等と連携し、芸術劇場の職員が講師を務める講座等を実施した。
- ・未来のダンス界を担うクリエイターの育成を目指す「ダンス・リダイレクション」ではメイン講師に国内外で活躍するダンサー・振付家の島崎麻美を迎え、ゲスト講師に落語家の柳家花緑を招き、夏期集中ワークショップを実施した。また、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団のダンサーを講師に迎えた集中セッションなど、芸術劇場で公演を実施する海外カンパニーのダンサーを講師に迎えたワークショップを実施し、若手アーティストにダンスの技術のみならず思考力や創造力を育む機会を提供した。
- ・テレビドラマや映画の劇伴音楽を手掛け注目を集める気鋭の作曲家坂東祐大と芸術劇場が2年にわたり制作した新作ミュージックシアターの本公演「坂東祐大新作ミュージックシアター『キメラ』－あるはずのないメソッドの空想」を実施した。深い探究に基づくとともにユーモアやエンターテインメント性を備えた“今までにない舞台”を観客に提供した。
- ・平日の昼に開催した埼玉会館ランチタイム・コンサートは気軽に良質な音楽を鑑賞できる機会として音楽鑑賞の入口となり、鑑賞層の拡大に寄与した。
- ・芸術劇場内のオープンスペース「光の庭」でポジティブ・オルガンの響きを気軽に楽しめる無料コンサート・シリーズ「光の庭プロムナード・コンサート」を開催した。地域の方々に良質の音楽を届けるとともに、地元の団体と協働してスペシャル公演を実施するなど、地域に根差した活動で更なる芸術劇場の認知度向上と鑑賞層の拡大に寄与した。また、県内文化施設で同コンサートを実施する「出張！光の庭プロムナード・コンサート」を熊谷市で実施し、より多くの県民へ良質な音楽を届けるとともに、芸術劇場の認知度向上に貢献した。
- ・若い世代に芸術の体験機会を提供する小・中学校へのアウトリーチ事業として、プロの振付家、ダンサーによるダンス・ワークショップや、プロの演奏家による生演奏の鑑賞機会を提供した。優れた芸術家からの直接的な指導による本格的なワークショップや身近な距離で音楽を聴き体験できるミニコンサートを通じて、児童・生徒が芸術に対して親しみ、理解を深める機会を提供した。

特別支援学校では、児童・生徒の特性に合わせた体験型の音楽プログラムを用意し、障害のある児童・生徒が文化芸術を楽しむ機会を提供した。

・子どもやファミリー層を対象とした落語や公演と時期を合わせたブックマルシェなど、「オープンスペース活用」事業を実施した。初めて芸術劇場に来場する方も多く、鑑賞層の裾野拡大に貢献した。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
その他 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 【4事業4公演】	5月11日(日) 7月26日(土) 10月5日(日) 1月24日(土)	埼玉会館 小ホール	1,737
舞踊 コンドルズ埼玉公演 2025 新作 『BORN TO RUN』 【1事業3公演】	6月7日(土) 、8日(日)	芸術劇場 大ホール	1,988
音楽 エトワール・シリーズ プラス 務川 慧悟 (ピアノ) 【1事業2公演】	6月21日(土) 11月24日(月・祝)	芸術劇場 音楽ホール	1,120
音楽 エトワール・シリーズ プラス 金川 真弓 (ヴァイオリン) 【1事業3公演】	9月13日(土) 3月7日(土) 、8日(日)	芸術劇場 音楽ホール	987
音楽 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第65回～第68回 【4事業4公演】	6月17日(火) 9月18日(木) 12月18日(木) 3月31日(火)	埼玉会館 大ホール	4,070
演劇 めにみえない みみにしたい 【1事業4公演】	7月20日(日) 、21日(月・祝)	芸術劇場 小ホール	545
音楽 大塚直哉レクチャー・コンサート (第12回、第13回) 【2事業2公演】	7月6日(日) 2月8日(日)	芸術劇場 音楽ホール	939

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
舞踊 ダンス・リダイレクション 【1事業3公演】	6月18日(水) 8月2日(土) ～10日(日) 12月2日(火) ～6日(土)	芸術劇場 大稽古場	316
その他 オープン・シアター「ダンスのある星に生まれて2025」 【1事業2公演】	10月11日(土) 、12日(日)	芸術劇場 与野本町駅前周辺 芸術劇場周辺	6,000
舞踊 世界のおはなしのダンス 【1事業4公演】	1月11日(日) 、12日(月・祝)	芸術劇場 小ホール	801
伝統芸能 寿ぎ狂言『万作・萬斎の世界』 【1事業1公演】	2月14日(土)	埼玉会館 大ホール	1,243
音楽 坂東祐大 新作ミュージックテアター 『キメラ』—あるはずのないメソッドの空想 【1事業3公演】	3月21日(土) 、22日(日)	芸術劇場 小ホール	396
その他 舞台技術講座 【2事業4公演】	8月26日(火) ～28日(木) 2月26日(木)	芸術劇場 大ホール等	78
演劇 彩の国シェイクスピア講座 番外編『ヴェローナの二紳士』勉強会 【1事業1公演】	1月11日(日)	芸術劇場 映像ホール	145
演劇 岩松了劇作塾 【1事業】	通年 ※公演は未実施	—	7
舞踊 MEET THE DANCE～アーティストが学校にやってくる！ 【1事業4公演】	5月16日(金) ～3月5日(木)	県内中学校	417

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
音楽 MEET THE MUSIC～アーティスト が学校にやってくる！ 【1事業6公演】	7月9日(水) ～12月16日(火)	県内小中学 校・特別支 援学校	188
音楽 光の庭プロムナード・コンサート 【4事業4公演】	4月5日(土) 8月2日(土) 12月20日(土) 2月28日(土)	芸術劇場 光の庭	930
音楽 出張！光の庭プロムナード・コ ンサート 【1事業1公演】	10月26日(日)	熊谷市	140
音楽 みんなのオルガン講座 【3事業12公演】	通年	芸術劇場 練習室他	262
その他 あなたと街で踊らせて！ さいさい盆踊り普及啓発 【1事業】	8月22日(金) 10月12日(日) 11月2日(日) 11月9日(日)	さいたま市内 (北与野駅前、 浦和駅前、中央 区役所前) 芸術劇場 ロトンダ	23,530
その他 芸術監督クロストーク「夢の人 に逢う」 【1事業3公演】	8月13日(水) 10月29日(水) 3月14日(土)	芸術劇場 映像ホール オンライン	300
その他 オープンスペースの活用 【1事業4公演】	8月11日(月・ 祝) 1月11日 (日)、12日(月 ・祝) 1月27日(火) ～2月15日 (日)	芸術劇場 ガレリア、 光の庭	295

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
その他 彩芸 Blossam (提携) 【2事業9公演】	9月4日(木) ～7日(日) 10月25日(土) 、26日(日)	芸術劇場 小ホール、 大稽古場	1,590
その他 大学への講師派遣 【1事業】	通年	埼玉大学・ 放送大学	—
その他 大学生インターンシップ 【1事業】	通年	芸術劇場	8

ウ 共催（4事業5公演）

- ・本県の文化芸術の振興に寄与する芸術性の高い公演等を共催公演として実施した。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
舞踊 Noism 【2事業5公演】	7月11日(金) ～13日(日) 12月20日(土) 、21日(日)	芸術劇場 大ホール	1,836
その他 彩の国シネマスタジオ 【2事業】	通年	芸術劇場 埼玉会館	7,047

エ 財団広報・事業広報の充実

- ・各公演の特徴に応じて、SNSを始めとした多様な媒体を活用した広報・営業活動や会員制度の充実を行い、リピーターの拡大や認知度向上を図った。

(ア) 企画展示事業

芸術劇場内のギャラリー及び光の庭にて、以下のとおり企画展示を実施した。

- ・「シェイクスピア演劇ポスター100」展（4月8日(火)－5月25日(日)）
- ・「あれもこれもダンス展」（9月30日(火)－11月3日(月)）
- ・「ピナ・バウシュの軌跡」（11月5日(水)－12月7日(日)）
- ・「区の花バラの写真コンクール作品展」（12月13日(土)－12月21日(日)）
- ・「春、音と影のあわいに」（1月27日(火)－2月15日(日)）

(イ) 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

財団の活動を広く一般に広報するためのツールとして、公演や活動内容に関する情報や出演者インタビューや寄稿記事などで構成する財団情報誌を発行した。

- ・発行回数、部数 年6回 各 12,000 部発行
- ・配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内公共施設など

(ウ) メンバーズ事業

自主企画公演のチケットの優先予約や団体営業などを行うことにより、基盤となる顧客の確保と鑑賞層の拡大を目指し、チケットの販売促進を図った。

- ・会員数 5,622 人（令和8年3月末現在）

(エ) サポーター会員の運営

財団の活動を御支援いただく法人等の賛助組織「サポーター会員」の運営

- ・管理を行うとともに、新規会員の獲得を図った。
- ・サポーター会員数 135 社（者）（令和8年3月末現在）

(オ) その他広報等

- ・近隣公共施設への公演チラシの配架、ホームページや SNS を用いた積極的な情報発信を行い、広く県民に芸術劇場及び埼玉会館等の活動を広報した。

(2) 芸術文化活動の場の提供等に関する事業

利用者等が安心して利用できる活動の場の提供のため、芸術劇場及び埼玉会館において、各施設の持つ機能を効果的に活用して質の高い貸館支援と利用者層の拡大を図った。

ア 芸術劇場

(ア) 施設の利用促進

- ・ホール、稽古場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるほか、施設の空き情報の提供などを行い、利用率の向上に努めた。
- ・ホームページを活用し、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、公演チラシ掲載による貸館公演の広報支援など、サービス充実を図った。
- ・舞台芸術資料室では、演劇、舞踊、音楽、映画等の分野に係る書籍、CD、DVD 等を収集するとともに、当財団自主企画公演等の記録映像を含めた資料の適切なアーカイブ化を進めた。

	資料総数	左記にかかる分野ごとの内訳				
		演 劇	舞 踊	音 楽	映 画	その他
書籍	12,117点	2,574点	638点	2,850点	715点	5,340点
C D	11,093点	10点	77点	10,597点	0点	409点
映像	3,760点	735点	773点	1,837点	185点	260点

(令和8年3月末現在)

- ・自由なアートの遊び場「クリップ」とカフェを運営することで、利用者へのサービス向上や賑わい創出を図った。
- ・施設内及び敷地内において、ファッション誌等やテレビドラマ・映画等の撮影を受け入れた。
- ・貸館利用者を対象に、ライブ配信が容易にできるデジタルインフラをPRし、活用の促進を図った。

(イ) 施設・設備の適切な運営・管理

- ・利用者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう、コスト面も考慮しながら修繕等の優先順位を検討し、サービスの質を低下させないような管理、運営を実施した。
- ・施設の現状に即した電力やガスなどの契約の見直しを行うほか、既存の設備を最大限に利用し、省エネルギーに努め環境に配慮するとともに経費の削減を図った。
- ・施設管理に関する情報共有体制の強化や、利用者アンケートを踏まえた改善を行うことで、サービスの向上を図った。
- ・これまでの改修や修繕の履歴、課題といった情報をD X化しデータを蓄積し、過去のノウハウを活用した効率的な管理・運営を行った。
- ・有料駐車場及び自動販売機の適切な運営・管理に努め、収入を確保した。

総来場者数 331,316 人

施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数	利用日数	利用率
ホール	1,054日	815日	77.3%
稽古場・練習室	3,726日	3,385日	90.8%
計	4,780日	4,200日	87.9%

イ 埼玉会館

(ア) 施設の利用促進

- ・ホール、会議室、展示室等の施設機能を効果的に活用し、芸術文化活動に加え講演会・講習会等の多様な用途に対応した施設貸与を実施し、利用率の向上に努めた。
- ・ホームページを活用し、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、公演チラシ掲載による貸館公演の広報支援など、サービス充実を図った。
- ・ホームページや SNS による情報発信に加え、地域メディア（FM ラジオ、地域情報サイト）を活用した広報を行い、利用機会の拡大を図った。
- ・ウェブ会議等に対応した利用環境の整備や、施設の空き情報の提供、利用相談対応の充実を通じて、利用率の向上と新規利用者の獲得に取り組んだ。加えて、屋外広場の活用によるイベント実施など、施設全体の活性化を図った。

(イ) 施設・設備の適切な運営・管理

- ・利用者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう、コスト面も考慮しながら修繕等の優先順位を検討し、サービスの質を低下させないような管理、運営を実施した。
- ・既存の設備を最大限に利用し、省エネルギーに努め環境に配慮するとともに経費の削減を図った。
- ・施設管理に関する情報共有体制の強化や、利用者アンケートを踏まえた改善を行うことで、サービスの向上を図った。
- ・これまでの改修や修繕の履歴、課題といった情報を D X 化しデータを蓄積し、過去のノウハウを活用した効率的な管理・運営を行った。
- ・有料駐車場及び自動販売機の適切な運営・管理に努め、収入を確保した。

総来場者数 591,411 人

施設の利用状況

施設等の名称	利用可能日数	利用日数	利用率
ホール	650日	572日	88.0%
展示室	1,011日	474日	46.9%
会議室	6,199日	5,157日	83.2%
計	7,860日	6,203日	78.9%

(3) 社会貢献事業及び地域の活性化に関する事業

事業数：10 事業

公演数：37 公演

入場者数：5,243 人 ※オンライン参加者含む。

ア 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進（5 事業 21 公演）

・近藤芸術監督が県内各地を巡る「埼玉回遊」を実施した。また、その様子を写真やドキュメンタリー映像として記録し、特設サイトで公開した。

10 月に実施したオープンシアターでは、「埼玉回遊」で出会った方々が出店し、ワークショップ等を行う「回遊横丁」を実施し、埼玉県の魅力発信に寄与した。

・年齢、障害の有無、プロ・アマなどの垣根を越え、多様性を重視した新シアターグループ「カンパニー・グランデ」は、多彩なジャンルで活躍する講師と共に年間を通じたスタジオワークを行い、2年間の活動の集大成となる本公演『春の祭典』を実施した。多様な人々が形づくる新しい創造のあり方を発信し、鑑賞サポートなどにより障がいのある観客からも高い評価を得る公演となった。

・パーキンソン病患者のためのダンス・プログラムを月1回の頻度で実施した。全国どこからでも参加可能なオンライン形式で実施することで、多くの方々がスクリーン越しにつながり、ダンスの習慣化と生活の質向上の一助となった。

・「子どもとアートー“体験格差”をのり越えて」というテーマでバリアフリー・セミナーを実施した。大学准教授や若者支援を行う一般社団法人の職員をゲストスピーカーとして招き、子どもの貧困や体験格差に焦点をあて、子どもの健やかな成長のためにアートが果たす役割について議論した。地域の拠点劇場としてのバリアフリーへの考えを自治体職員や県内外の文化施設等と共有し、全ての県民が劇場文化を享受できる環境の促進や、劇場・文化施設の社会包摂機能の推進に貢献した。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
その他 埼玉回遊 【1事業6公演】	【回遊】 7月17日(木) ～12月22日(月) 【回遊横丁】 10月11日(土) 、12日(日)	県内市町 (北本市、吉見町、久喜市、川越市、本庄市、さいたま市) 芸術劇場 光の庭	210 ※収録見学者
その他 バリアフリー・セミナー 【1事業1公演】	2月12日(木)	芸術劇場 映像ホール	120

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
その他 新シアターグループ 「カンパニー・グランデ」 【1事業2公演】	【スタジオワーク等】 4月28日(月) ～3月14日(土) 【舞台公演】 2月7日(土)、8 日(日)	芸術劇場 大稽古場、 大ホール等	974
その他 パーキンソン病患者のための ダンス・プログラム 【1事業11公演】	通年	オンライン	380
その他 劇場に“ふれる”建物見学ツ アー 【1事業1公演】	2月28日(土)	芸術劇場 ガレリア、 光の庭	5

イ 埼玉会館ブランディング事業（5事業16公演）

- ・令和8年の創立100周年を見据え、1年前イベント「埼玉会館タイムトラベル」、建築セミナー、建築見学ツアー、フォーラム等を実施し、施設の魅力や埼玉会館の歴史及び建築的価値を発信するとともに、来館者の関心を喚起しブランド価値の向上に寄与した。
- ・美術と街巡り・浦和実行委員会の協力のもと、フォーラムを実施し、埼玉会館の建築的価値や地域との関係性について理解を深める機会を創出した。地域資源との連携による新たな活用の可能性を共有し、施設の認知度向上とブランド価値の向上に寄与した。
- ・100周年事業に向けた準備として、写真や資料の収集などアーカイブ整備を進め、歴史的資源の蓄積と今後の発信基盤の強化に取り組んだ。

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
開館100周年1年前イベント 「埼玉会館タイムトラベル」 【1事業7公演】	11月2日(日) ※展示室のみ 11 月1日(土)～3 日(月・祝)	埼玉会館 大ホール 小ホール 第3展示室	2,840
前川國男 建築セミナー 【1事業1公演】	9月20日(土)	埼玉会館 大ホール	320

事業名	実施時期	会場	入場者数 (人)
建築見学ツアー 【1事業6公演】	5月17日(土) 6月14日(土) 7月12日(土) 10月25日(土) 12月20日(土) 2月21日(土)	埼玉会館 大ホール 小ホール他 ※6月14日 埼玉県立歴史と民俗の博物館での開催	249
こども建築見学ツアー 【1事業1公演】	8月23日(土)	埼玉会館 大ホール 小ホール	57
フォーラム「まち・みち・た てものを、愛でる・いじる・ 生かす」 【1事業1公演】	3月14日(土)	埼玉会館 3C会議室	88

ウ 賑わい創出と活性化のための共催・連携事業

- ・NPO法人等と連携した月1回の映画上映会を開催した。
- ・芸術劇場では、月1回のストリートピアノ、中央区アートフェスタ実行委員会と連携したキャンドルアートナイト、区民コンサートの実施や中央区美術家協会による「中美展」を実施した。
- ・10月のオープンシアターにおいて、地元自治会・団体と連携した屋外マルシェを実施した。
- ・埼玉会館では、町内会のお祭りへの協力、商店会と合同での「県庁通りイルミネーション」の設置などを行った。

(4) 他団体との連携事業

- ・令和7年3月25日に公表された埼玉県指定出資法人あり方検討委員会の報告書を踏まえ、当財団と同様に貸館事業や各種公演を実施している（公財）埼玉県産業文化センター（ソニックシティ）と事業連携を進めていくこととなった。
- ・国立大学法人埼玉大学と地域における芸術文化の振興及び知の継承発展に寄与することを目的として、令和8年2月17日に包括連携協定を締結した。

(5) 経営の健全化及び経営基盤の強化

ア 舞台芸術作品の提供等に関する事業における評価指標

区 分	実績数値	評価指標
収 支 比 率	74.3%	50%
有 料 公 演 チ ケ ッ ト 販 売 率	85.7%	80%
公 演 満 足 度	98.6%	95%

イ 芸術文化活動の場の提供等に関する事業における評価指標

区 分	施設名	実績数値	評価指標
施 設 利 用 率	芸術劇場	87.9%	85%
	埼玉会館	78.9%	75%
施 設 利 用 満 足 度	芸術劇場	97.0%	95%
	埼玉会館	98.8%	95%

ウ 経常利益を前年度決算より増加させる数値目標

取組項目	実績数値	数値目標
利用料金収入の確保	利用料金収入 330,696 千円	利用料金収入 325,508 千円
サポーターの新規獲得	サポーター会員数 対令和6年度比+4 社	サポーター会員数 対令和6年度比+10 社
経費削減の徹底	年間紙代・印刷費 対令和6年度比 ▲54.1%	年間紙代・印刷費 対令和6年度比 ▲40%

エ DXの推進等により生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する数値目標

取組項目	実績数値	数値目標
支払業務の電子化	紙削減枚数 対令和6年度比 ▲約2万2千枚	紙削減枚数 対令和6年度比 ▲約2万枚

取組項目	実績数値	数値目標
電子契約の推進	郵送代、印紙代の削減 対令和 6 年度比 ▲30 万円	郵送代、印紙代の削減 対令和 6 年度比 ▲約 30 万円
電子チケットの利用促進	電子チケット利用率 対令和 6 年度比+1.1%	電子チケット利用率 対令和 6 年度比+ 2 %

2 理事会・評議員会の開催

当財団の事業計画、予算、決算の承認、事業の状況報告等を行うため、理事会を7回（4月、5月、6月〔2回〕、10月、3月〔2回〕）、評議員会を5回（6月〔2回〕、10月、3月〔2回〕）開催した。

3 役職員に関する事項

（1）役員数（令和8年3月31日現在）

	常 勤	非常勤	計	備 考
理 事 長	－	1 人	1 人	
専務理事	1 人	－	1 人	県派遣 1 人
理 事	2 人	4 人	6 人	県派遣 1 人
監 事	－	2 人	2 人	
計	3 人	7 人	10 人	県派遣 2 人

（2）職員数（令和8年3月31日現在）

	常 勤	非常勤	計	備 考
部 長	1 人	－	1 人	
参 事	1 人	－	1 人	
課長・副課長・ 副参事・副館長	8 人	－	8 人	県派遣 2 人
主 査	17 人	－	17 人	県派遣 3 人
主 任	15 人	－	15 人	県派遣 1 人
主事・技師	3 人	－	3 人	
芸術監督	－	1 人	1 人	
アドバイザー	1 人	1 人	2 人	
参 与	－	1 人	1 人	
その他非常勤職員	－	1 人	1 人	
計	46 人	4 人	50 人	県派遣 6 人